

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公開番号】特開 2000-186862 (P2000-186862A)

【公開日】平成 12 年 7 月 4 日 (2000.7.4)

【出願番号】特願 平 10-376042

【国際特許分類】

F 2 4 J 2/23 (2006.01)

【F I】

F 2 4 J 2/04 L

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 19 日 (2005.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 横方向に連続する帯状の表面要素を上下並列に配置し、上方の平面要素の下側縁で下方の平面要素の上側縁を覆う形態に重ね葺きしてなる屋根面と、この屋根面を覆う形態に屋根面に接着され熱媒体を含浸し流下させる吸水性シートと、吸水性シートの上方位置に配置された吸水性シート上に熱媒体を供給するための熱媒体供給手段とを有し、当該吸水性シートは、上方と下方の平面要素の段差位置に配置され段差に沿って横方向に形成された開口を有し、この開口が、上方の平面要素の下側縁に沿った上部輪郭縁および下方の平面要素の上方部分の表面上に位置する下部輪郭縁と、前記上部輪郭縁から下部輪郭縁の間に位置する間隔を置いて配置した導水路を形成する側部縁とを有し、前記開口に接して位置する平面要素の下側縁が吸水性シートに沿って流下してきた熱媒体の動きを緩衝し滴下させて下方の平面要素の上部に受け渡すと共に、この開口を通じて段差を露出させ段差付近の排水と通気を行えるように構成した熱交換装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載された熱交換装置にして、前記吸水性シートは複数の平面要素を覆う素材からなる熱交換装置。

【請求項 3】 請求項 1 に記載された熱交換装置にして、前記吸水性シートは単一の平面要素に沿って横方向に配置される帯状の素材からなる熱交換装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【発明の実施の形態】

横方向に連続する帯状の表面要素 1 を上下並列に配置し、上方の平面要素の下側縁 2 で下方の平面要素の上側縁 3 を覆う形態に重ね葺きしてなる屋根面が吸水性シートの支持面として使用される。吸水性シートはこの屋根面を覆う形態に据付け固定される。固定方法としては、接着による方法と要所を機械的に拘束する方法がある。機械的に固定する方法には、針金状の押さえ金具を使用する方法とクランプによる方法がある。

図 1 の吸水性シートは、10 列の平面要素に横貼りされる粘着シートの例を示している。図 3 と図 5 は、1 列の平面要素に横貼りされる粘着テープ状の吸水性シートの例を示している。図 6 は、図 5 の吸水性シートの貼付けの形態を示している。縦貼りにするか横貼

りにするかは、屋根の形態にあわせて選択することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

吸水性シートは熱媒体を含浸し流下させる働きをする。吸水性シートの上方位置には吸水性シート上に熱媒体を供給する熱媒体供給手段（図示せず）が設置される。吸水性シートは開口4を形成している。開口4は、上方と下方の平面要素の段差位置に配置され段差に沿って横方向に形成されている。この開口4には、例えば、図1から図5に示すような形態のものがある。